

議 員 派 遣 案 (第 24 号)

令和 7 年 12 月 18 日

次のとおり議員を派遣する。

県 政 調 査

1 目 的

タイでは、産業集積や政府の税制優遇により効率的な供給網が構築されており、さらにインドシナ半島の中心に位置し、ASEAN各国の物流の結節点となっているという地理的優位性から、日系企業の事業展開が進んでいる。

また、高齢化の進展により、医療・介護を始めとする高齢者関連市場の拡大が注目されている。

そういった状況を踏まえ、ライフサイエンス・ヘルスケア産業において、日本・タイ両政府機関や経済団体と連携して、日系企業のタイ進出を支援している「KAIGO Life」を聴取し、県内中小企業のビジネス展開支援の参考とする。

同じく「ジェトロ・バンコク事務所」においても官民協力機関等と連携した支援プラットフォームを整備・構築していることから、このような取組を聴取し、今後の施策の参考とする。

「チュラロンコン大学交通研究所(CUTI)」は、高齢化・都市混雑・運転手不足等を背景とした新たなモビリティ政策の研究・制度設計支援を行っていることから、この取組を聴取し、新たなモビリティ供給のあり方の検証の参考とする。

「日本発条株式会社」は、国際的な部品サプライヤーとして、情報通信分野や産業生活分野など様々な業界を支えている。その取組を聴取し、日系企業にとってのタイ進出メリットに関する理解を深める。

そのほか、タイ国内での技能実習生の募集、選抜、日本語教育などを行っている団体の取組について聴取し、外国人材の雇用支援についての参考とする。

2 派遣場所

タイ王国

3 期 間

令和 8 年 3 月 28 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

4 派遣議員

10 人